

「はれわたり」の品種特性を発揮した美味しくて品質の良いお米を、生産者が自信を持って生産するための栽培マニュアルを作成しました。

研究成果の概要

1 背景・目的

「はれわたり」は、高温年に問題になることが多い胴割粒の発生が少なく、食味にも優れた品種です。農林総合研究所では、「はれわたり」の品種特性を発揮したブレのない良食味・高品質米生産を支援するため、栽培マニュアルを作成しました。

2 内容

「良食味・高品質栽培マニュアル」では、種籾の準備や苗づくり、肥料のやり方、水管理、病気や害虫の防除方法、刈取り等一連の栽培方法のポイントを解説しています。

例えば、「はれわたり」は種子の休眠が深く、浸種時の水温が低いと出芽が不揃いになりやすいという品種特性があります。これを防ぐためには、種籾の芽だしを促す浸種時の水温が10℃以下とならないように温度管理することが必要です。

刈取りでは、出穂時の高温や刈り遅れで問題になる胴割粒の発生が少ないため、「はれわたり」は従来品種よりも刈取り適期が長くなります。

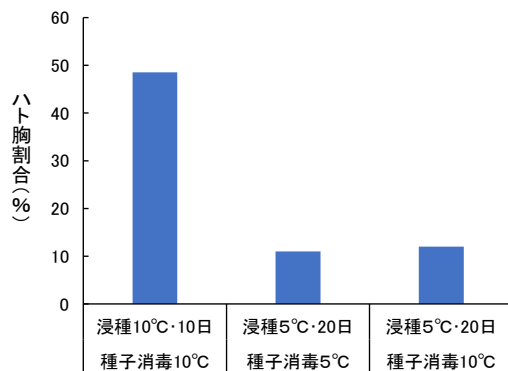
また、近年は農家当たりの経営面積が拡大しており、省力的な栽培技術が求められていることから、「はれわたり」による高密度播種苗栽培（より少ない苗箱数で田植えできる技術）や直播栽培（田んぼに直接種籾をまく技術）についても紹介しています。

3 活用等

「はれわたり」の普及指導情報として活用されています。



良食味・高品質栽培マニュアル



浸種条件とハト胸割合
※ハト胸割合が高いほど出芽揃いが良好になる

関連情報

- 農林総合研究所のホームページでは、水稻作況試験圃での「はれわたり」などの生育状況を、随時情報提供しています。



作況圃生育状況のQRコード

